

# CASBEE<sup>®</sup>-建築(新築)

## 評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: osk\_CASBEE-BD\_NC\_2014(v.1.23)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)医薬総合研究所研究棟V新築	階数	地上1F
建設地	高槻市紫町35番1	構造	S造
用途地域	準工業地域、準防火地域	平均居住人員	90人
気候区分	5地域	年間使用時間	2,500時間/年
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年9月 予定	評価の実施日	2016年5月6日
敷地面積	7,687㎡	作成者	根本昌徳
建築面積	3,517㎡	確認日	2016年6月28日
延床面積	3,516㎡	確認者	塩見俊明



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.5

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.1

#### Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.4

音環境	2.8
温熱環境	3.0
光・視環境	4.0
空気質環境	3.9

#### Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.5

機能性	3.6
耐用性	2.9
対応性	3.9

#### Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.4

生物環境	2.0
まちなみ	3.0
地域性	2.0

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.6

#### LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.8

建物外皮の	5.0
自然エネ	3.0
設備システ	4.2
効率的	2.5

#### LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.5

水資源	3.4
非再生材料の	3.7
汚染物質	3.2

#### LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.3

地球温暖化	3.4
地域環境	3.3
周辺環境	3.2

3 設計上の配慮事項		
総合	マスタープランにおいて、内部(既存)の豊かな緑に対して積極的に開く配置とした。そして、その開いたスペースをコミュニケーションパスと位置づけ、居室内部を積極的に他部署署員が通り抜けられる仕掛けとした。	その他 特になし。
Q1 室内環境	床・壁・天井・天井裏の全面的にF☆☆☆☆の建築材料を使用し室内環境に配慮している	Q3 室外環境(敷地内) 特になし。
LR1 エネルギー	高効率設備の採用でエネルギーの有効活用に配慮している	LR3 敷地外環境 燃焼機器を設置せず、大気汚染防止に配慮している。
Q2 サービス性能	十分な天井高さを取り快適性に配慮している	
LR2 資源・マテリアル	リサイクル材の採用など資源に配慮している。	

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

# 大阪府建築物環境配慮評価システム 2015年版

## 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H29-変-0002

Osakafu-新築・既存 2015V1.03

<b>【建物概要】</b>		建物名称	(仮称)医薬総合研究所研究棟V新築工事					
		建設地	高槻市紫町35番1					
		用途/区分	事務所 工場					
<b>【評価結果】</b>	CASBEE 総合評価					A		
	CO2削減					3		
	省エネ対策					4		
	みどり・ヒート アイランド対策					3		
再生可能エネルギー 利用施設の導入状況		太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	
エネルギー消費量の報告						報告しない		
<b>【評価項目】</b>								
省エネルギー対策		① CO2削減						
		② 省エネ対策						
項目		評価内容				スコア	評価	
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				3.4	3	
② 省 エ ネ 対 策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 2」 のスコアによる評価		建物全体	3.0	4		
	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価					5.0	
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価					3.0	
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価					4.2	
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価					2.5	
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価					3.4	
エネルギー消費の実態把握に努める		エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	報告しない	
みどり ヒートアイランド対策		③ みどり・ヒートアイランド対策						
項目		評価内容				スコア	評価	
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				2.0	3	
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価				3.0		
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価				3.0		
その他								
先進的技術の導入		技術の名称			考慮事項			
特に配慮した事項								